

平成22年度

財政健全化審査意見書

経営健全化審査意見書

仙北市監査委員

仙発監第 59号
平成23年9月22日

仙北市長 門 脇 光 浩 様

仙北市監査委員 戸 澤 正 隆

仙北市監査委員 小 林 幸 悦

平成22年度財政健全化審査及び経営健全化審査意見書の提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1
項及び第22条第1項の規定により、平成22年度健全化判断比率及び資金不足比率
について審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

目 次

平成22年度 財政健全化審査意見書	1
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の概要	1
第4 審査の結果	1
(1) 総合意見	1
(2) 個別意見	1
(3) 是正改善を要する事項	2
平成22年度 経営健全化審査意見書	3
第1 審査の対象	3
第2 審査の期間	3
第3 審査の概要	3
第4 審査の結果	3
(1) 総合意見	3
(2) 個別意見	4
(3) 是正改善を要する事項	4

平成22年度 財政健全化審査意見書

第1 審査の対象

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下、「財政健全化法」という。）に定める、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下、「健全化判断比率」という。）並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類。

第2 審査の期間

平成23年8月23日から平成23年9月16日まで

第3 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第4 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された平成22年度の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(単位：%)

健全化判断比率	平成22年度	平成21年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	—	12.96
②連結実質赤字比率	—	—	17.96
③実質公債費比率	19.2	20.4	25.00
④将来負担比率	129.9	144.0	350.0

〔注〕実質赤字比率、連結実質赤字比率が発生していないため、「—」で表記。

(2) 個別意見

① 実質赤字比率について

平成22年度の実質赤字比率は、平成21年度と同様、実質収支額が黒字であるため実質赤字額がなく、実質赤字比率はマイナスとなっており、早期健全化基準の12.96%を下回り良好な状態を示している。

② 連結実質赤字比率について

平成22年度の連結実質赤字比率は、すべての会計において実質収支額・差引剰余額に赤字が生じていないため連結実質赤字額がなく、連結実質赤字比率

はマイナスとなっており、早期健全化基準の17.96%を下回り良好な状態を示している。

③ 実質公債費比率について

平成22年度の実質公債費比率は19.2%となっており、平成21年度の20.4%と比較すると1.2ポイント改善されている。早期健全化基準の25.0%と比較するとこれを下回っており基準内の状態を示している。

④ 将来負担比率

平成22年度の将来負担比率は129.9%となっており、平成21年度の144.0%と比較すると14.1ポイント改善されている。早期健全化基準の350.0%と比較するとこれを下回っており基準内の状態を示している。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

平成22年度 経営健全化審査意見書

第1 審査の対象

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下、「財政健全化法」という。）に定める、次の事業会計の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類。

- ①仙北市下水道事業特別会計
- ②仙北市集落排水事業特別会計
- ③仙北市浄化槽事業特別会計
- ④仙北市簡易水道事業特別会計
- ⑤仙北市病院事業会計
- ⑥仙北市温泉事業会計
- ⑦仙北市水道事業会計

第2 審査の期間

平成23年8月23日から平成23年9月16日まで

第3 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第4 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された平成22年度の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(単位：%)

会 計 の 名 称	資金不足比率		経営健全化基準
	平成22年度	平成21年度	
①仙北市下水道事業特別会計	—	—	20.0
②仙北市集落排水事業特別会計	—	—	20.0
③仙北市浄化槽事業特別会計	—	—	20.0
④仙北市簡易水道事業特別会計	—	—	20.0
⑤仙北市病院事業会計	—	—	20.0
⑥仙北市温泉事業会計	—	—	20.0
⑦仙北市水道事業会計	—	—	20.0

〔注〕 資金不足比率が発生していないため、「—」で表記。

(2) 個別意見

① 仙北市下水道事業特別会計

平成22年度の資金不足比率は、平成21年度と同様、実質収支額が黒字であるため発生していない。

② 仙北市集落排水事業特別会計

平成22年度の資金不足比率は、平成21年度と同様、実質収支額が黒字であるため発生していない。

③ 仙北市浄化槽事業特別会計

平成22年度の資金不足比率は、平成21年度と同様、実質収支額が黒字であるため発生していない。

④ 仙北市簡易水道事業特別会計

平成22年度の資金不足比率は、平成21年度と同様、実質収支額が黒字であるため発生していない。

⑤ 仙北市病院事業会計

仙北市の病院事業は田沢湖病院及び角館総合病院の2病院を経営し、それぞれが独立した経営形態をとっている。2病院を合わせた仙北市病院事業会計での平成22年度の資金不足比率は、平成21年度と同様、差引剰余額が黒字であるため発生していないが、病院毎の資金不足比率は、田沢湖病院が23.1%、角館総合病院は資金不足比率が生じていないため▲6.1%となり、田沢湖病院単独では経営健全化基準の20.0%を超える資金不足比率が発生している。

⑥ 仙北市温泉事業会計

平成22年度の資金不足比率は、平成21年度と同様、差引剰余額が黒字であるため発生していない。

⑦ 仙北市水道事業会計

平成22年度の資金不足比率は、平成21年度と同様、差引剰余額が黒字であるため発生していない。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。